

あまべっ子通信

海辺小学校
校長 佐藤廉

地曳網体験を実施しました

連日厳しい猛暑が続いていますが、地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今年も海辺小学校の伝統行事である地曳網体験を7月5日（金）に行いました。今年度からは、安全上の観点から実施場所を中津浦に変更しました。

当日は、日差しが強く大変暑いなかでしたが、中津浦までの移動は市のバスを利用することができ、大変ありがたかったです。また、熱中症の心配をしておりましたが、地域の方の善意で倉庫を休憩場所として使わせてもらったり、トイレや水道も貸していただいたりしたおかげで、みんな元気に活動することができました。

浜に集合して漁協の平川さんから地曳網の説明を聞いたあと、子どもたちと教職員、保護者が二手に分かれて網を引きました。みんなで力を合わせて一生懸命に引き続けました。徐々に網が引き寄せられて、中の魚の姿が見えてきました。網の中には、アジを中心にタイやカワハギ、キスなど800匹ぐらいの魚が入っていて、子どもたちは大喜びでした。6年生が中心となって魚をケースの中に移して、そのあと持ち帰りを希望する子どもたちや保護者、地域の方で分けました。

この地曳網体験は大分県内でも本校だけの大変めずらしい行事です。子どもたちにとって本当に貴重な経験ですし、卒業してからもずっと思い出に残る行事です。今回もこの行事を支えてくださったあまべ振興協議会の皆様、漁協の皆様、漁師の皆様、保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。ぜひ、来年度もご協力よろしくお願いたします。

